

地域でつながるワカモノ × NPO・インターンシッププログラム
 「歩いて、食べて、学ぼう!!」 藤沢宿の秋」報告書

NPO 法人 湘南遺産プロジェクト 作成/和田



清浄光寺（遊行寺）惣門

1、本プロジェクト「藤沢宿ツアー」の背景

最初からややこしいが、今回実施した「藤沢宿」ツアーは、トヨタ財団の「2016 年度イニシアティブプログラム助成事業」を受託した「NPO 藤沢市市民活動推進連絡会」が企画した「地域でつながるワカモノ×NPO インターンシッププログラム 2016」に応募した「湘南遺産 Proj.」等の団体が、学生インターンシッププログラムとして行った活動のひとつである。同プログラムに参加する学生に対しては、「約7か月間、継続的に“団体の一員”として責任を持って活動に参加することで、将来地域で行う公益的の市民活動を担う人材として育成される」ことが期待されている。

2、「藤沢宿ツアー」の概要

- 1) テーマ：「歩いて、食べて、学ぼう!!」 藤沢宿の秋」（学生自身によるネーミング）
- 2) インターンシップ学生：江端佐知子（早稲田大学3年生）
- 3) インターンシップ期間：H28/6/B～H29/2/E
 （この期間に課せられた複数課題の中の最大の課題が今回実施した「藤沢宿ツアー」である）
- 4) 「藤沢宿ツアー」に対する「湘南遺産 Proj.」スタッフの指導方針
 - a) 藤沢宿について学ぶとき、表層的な情報収集に留まらず、時代背景まで探る様、指導すること。
 - b) 若い女性の感性を前面に打ち出した企画にすることで、従来のツアーにない斬新さを狙うこと。
 - c) 可能な限り学生の自主性に任せ、失敗を恐れず新しい試みに挑戦するよう指導すること。

3、「藤沢宿ツアー」の詳細

1) 開催日時：平成28年11月27日(日) 10:30~14:30

2) 実施内容：小田急線藤沢本町から「ふじさわ交流館」までの藤沢宿の主要な史跡等を巡るツアー。

参加費 1300 円。資料を配布(9 頁)、交流館での昼食後に PPT によるプレゼンテーションを実施。

3) 参加者：16 人(男性8、女性8)、スタッフ：4人。

4) 「藤沢宿ツアー」のコース

◆小田急線藤沢本町駅(10:20 集合・趣旨説明),10:35【スタート】→10:37「よっしーのお芋屋さん」「古美根菓子舗」→10:45「白旗神社」(源義経公鎮靈碑→弁慶の力石)→11:00「伝源義経首洗井戸」→11:20「永勝寺(飯盛女の墓)」→11:30「弁慶塚」→11:40「済美館」(休憩)→「井本菓子舗」→11:55「常光寺(かやの大木)」→「ラーメン小松屋→豊島屋本店→桔梗屋など」→12:17「金砂山観音」→12:30「遊行寺(いろは坂→大イチョウ→放生池→宇賀神社→長生院の照手姫墓→銅鐘→敵御方供養塔)→13:00「ふじさわ宿交流館」【ゴール】(昼食、13:40 PPT プレゼンテーションによるまとめ) 14:30 解散

5) 「藤沢宿ツアー」の基本方針とコンセプト

◆基本方針

- ・コースの設定、時間配分、配布資料、説明内容、プレゼン、その他の活動に学生自身の独自色を打ち出す。

◆コンセプト

- ・見学先の中から当該エリアの歴史に通底している「やさしさ」を女性視点から発見し、ストーリーを組み立てる。

- ① 白旗神社、源義経公鎮靈碑、義経首洗い井戸、弁慶塚(義経伝説)
- ② 永勝寺(飯盛女の墓)、金砂山観音
- ③ 遊行寺(長生院の照手姫の墓、敵御方供養塔)

- ・“食”にこだわり、菓子舗(3店舗)への立ち寄りや地域色のある昼食の提供を試みる。
- ・長生院における照手姫伝説の説明に際し、効果を上げるために手製の紙芝居を準備する。
- ・ツアー終了後、PPTにより「藤沢宿ツアー」のレビューを行う。内容的に、「宿」自身の説明に留まらず、当時の庶民の暮らしや文化を紹介することで、藤沢宿の理解度を上げる。

4、「藤沢宿ツアー」の結果と結論

1) 上記の基本コンセプトをもとに実施した結果は、参加者のリアクションとアンケートに見事に表れた。

一言でいえば、若い女性の感性に裏付けられた従来にないスタイルのツアーに対する驚きであり、称賛であった。

「印象的だったことは？」と問いかけたアンケートの回答の上位が、「紙芝居」「弁当」「菓子舗」「やさしさ」であったことは、従来の藤沢宿ツアーと比較したときに、今回の企画の斬新性と意外性を示している。

特に、満足度調査で「紙芝居」が群を抜いていたことは、注目に値する。

2) 参加者の半数が女性であったこともあるが、菓子舗巡りの企画も好評だった。特に「井本菓子舗」の店員の好意的な対応が参加者に好評で、ツアー自身の好感度を上げることになった。

3) 5名の神奈川SGGクラブ(外国人対象の通訳ボランティア団体)会員の参加も今回の成功要因のひとつとして挙げられる。この団体とはコースの下見を含めて2度行動を共にしたが、積極的に情報を得ようと努める熱心な態度が、結果的に学生のモチベーションを上げることになった。

4) 結論として断言できるのは、「紙芝居」、「菓子舗巡り」、「地域色を打ち出した弁当」、といったメニューはシニアの男性には発想自身が困難であり、今後の「湘南遺産 Proj.」の活動に対して大きなヒントと刺激を与えてくれた。

5、ツアーの様子



若いエネルギーがシニア集団を牽引した藤沢宿ツアーの様子

6、学生自身による総括

どちらかというとなシニアの専門領域と思われがちな歴史探訪ツアーのガイドとしてあえて若者を起用することで、歴史関連のことを学ぶという目的を達成するだけでなく、世代間の交流も図ることができるため、世代間交流が減っている現代において「これはシニアのもの」「これは若者のもの」というような固定観念を崩すきっかけになる。さらにその世代間交流を通して若者が歴史あるものを後世に残していきたいと感じ、世代を超えて様々な取り組みができるようになるきっかけにもなる。(江端佐知子)

■参考資料1：アンケートの分析結果

1) 参加者の属性

■アンケート集計結果（回答者16人）

- ・年齢：20代（1）、40代（1）、50代（3）60代（4）、70歳以上（7）
- ・性別：男性（8）、女性（8）
- ・住所：藤沢（9）、茅ヶ崎（2）、鎌倉（1）、寒川（1）、逗子（1）、横浜（1）、埼玉（1）
- ・今回のイベントを知ったのは？
神奈川SGGクラブ（5）、知人の紹介（4）、湘南遺産 Proj.会員（3）、その他（4）

2) 参加者の満足度

全ての項目で満足度が高いことよりも、紙芝居に13人が「とても満足」と回答した事実が興味深い。

- ・時間配分：とても満足（8）満足（6）普通（1）不満（0）とても不満（0）
- ・料金：とても満足（9）満足（6）普通（0）不満（0）とても不満（0）
- ・内容：とても満足（9）満足（6）普通（0）不満（0）とても不満（0）
- ・雰囲気：とても満足（10）満足（5）普通（0）不満（0）とても不満（0）
- ・紙芝居：とても満足（13）満足（2）普通（0）不満（0）とても不満（0）

3) アンケート「今回のツアーで一番印象的だったことは？」に対する回答（全文掲載）

- ◆2回以上登場する言葉：ガイドの説明（7）、紙芝居（5）、菓子舗（4）、遊行寺（4）、照手姫（4）、義経（4）、弁当（3）、飯盛女（3）、優しさコンセプト（2）、敵御方供養塔（2）、
- ◆今回のツアーの成功要因は、上記の結果に見事に表れている。ガイドの説明をあげた7人の参加者の内、3名が「若い」を強調しているのは想定内としても、「紙芝居」が次点（5人）となり、「菓子舗」や「弁当」が上位に並んだことを考えると、「若い女性」による企画とガイドが今回のツアーの成功要因と理解できるが、コースの設定も、「紙芝居」「和菓子舗」「弁当」も学生個人の発案であったことから、今回の成功がかなり個人的な能力に依拠していることも事実である。

◆コメントを全文掲載

- ・紙芝居と白旗神社が義経と関係があったこと。（60代・男性）
- ・遊行寺一史実と建物が揃っている。和菓子店一由緒がある。（70歳以上・男性）
- ・紙芝居よかったです。（50代・女性）
- ・紙しばい：ああいううざったいまめ巧さは若い子の感性！・弁慶塚：60年ネイティブなのに知らなかった裏道。道も楽しい。短期でよく調べた。感心！です。・おべんとう：地元こだわりで良かった。井本さん、わびすけ、地元でがんばるしにせ、今後も宜しく。・コースも時間通りで運営もよかったです。（60代・女性）
- ・「藤沢宿の優しさに満ちている」というテーマが印象的。そのテーマの義経の首塚、飯盛女の墓、小栗判官と照手姫、敵御方供養塔がよく理解できた。（70歳以上・男性）
- ・若い女性の感じ方、歴史の捉え方でガイドをして頂き、とてもよかったです。（70歳以上・女性）
- ・小栗、てるて姫→紙しばい→ものがたりがよく分かりました。紅葉、飯盛女・豊島屋本店（はじめて知りました）、義経首洗い井戸→藤沢人が親切と言われるのだとか・・・。お弁当・ドーナツ、大イチョウ→美しかった。（50代・女性）

- ・小栗判官と照手姫、以前聞いたことありましたが藤沢の遊行寺の中にあるとびっくりしました。敵御方供養塔、飯盛女の話。(70歳以上・女性)
- ・若いツアーガイドの参画。(70歳以上・男性)
- ・遊行寺～本堂くらいしか見ていなかった。(60代・男性)
- ・藤沢にこれ程の名所があったこと。お弁当がとてもやさしい良い味ですばらしかった。(60代・女性)
- ・どこも印象的でしたが、井本菓子舗さんの1つ火がとてもおいしかったです。また、遊行寺もとても素敵でした。後は何といても江端さんの丁寧な解説です!!笑(20代・女性)
- ・普段素通りしているところを大変丁寧に説明していただきました。有難うございます。(50代・女性)
- ・清浄光寺(遊行寺)見学と説明。(70歳以上・男性)
- ・紙芝居。(70歳以上・男性)

4) アンケート「一言感想を！」に対する回答(全文掲載)

- ◆16人中5人が、自発的に「次回も参加したい」と書いてくれた。

50代以上のシニアのツアー客の満足度を上げる方策として「若者」の起用は今後のヒントになる。

- ・初めてこのようなイベントに参加しました。案内の方が非常に気を使って誘導されたことに感動しました。(60代・男性)
- ・親切且つ詳しい説明がよいと思った(江端さん、和田さん、他)。有難うございました。(70歳以上・男性)
- ・身近な地域のことも知らないことがたくさんあるので“気づき”のよい機会だったと思います。(50代・女性)
- ・またウォッチングして欲しいです。逗子行きたい(山の上古墳も)。江端さんや友人、若い娘からみて、藤沢宿、どんな?か知りたいです。今後も湘南遺産の展開に江端さんキャラ(絵)利用できない?(一応元キャラ文具デザイナーとしては、あの、今どき%(程度、先端できず)良いと思う。(60代・女性)
- ・藤沢宿を見学するのは初めてでしたが、若い方の分かりやすく面白い説明で、大変楽しく過ごしました。紙芝居の工夫も楽しく分かりやすかったです。(70歳以上・男性)
- ・藤沢宿についてはほとんど知らずに来ましたが、今回の一連のプロジェクトに参加させて頂き、藤沢の“優しさ”を歴史、スタッフの方々から多くを学ばせて頂きました。ありがとうございました。(70歳以上・女性)
- ・このようなツアーがあれば、又参加させて頂きたいと思います。ありがとうございました。(50代・女性)
- ・ともかくガイドツアーさんがしっかりお話し本当にありがとうございました。次回はどこでしょうか?(70歳以上・女性)
- ・藤沢の歴史をもっと理解し、藤沢の発展につなげる人を育ててほしい。(70歳以上・男性)
- ・江端さんの紙しばいはじめ、皆さんが楽しく参加できるツアーの企画、素晴らしかったです。ツアーふり返りプレゼンよかったです。(60代・男性)
- ・スタッフの皆様御苦労様でした。お世話様でした。(60代・女性)
- ・元々藤沢市のことはほとんど知りませんでした。ですが、印象に残る藤沢エピソードを教えていただき、実際にお菓子をいただく、そして自分の足で歩いて見て回る、という工夫をしていただいたおかげで、今日1日で藤沢の魅力を知ることができたように思います。自分の住んでいる地域でもこのようなイベントを開催してくれればいいのになあと思いました。笑 今後どのようにこの活動が広がっていくのかもとても興味深いです。半日とても有意義に使うことができてとても嬉しいです。今後も応援しています。“さっちゃんおつかれさま”(20代・女性)
- ・紙芝居、とってもかわいかったです。(50代・女性)
- ・次回も参加したいと思って居ます。(70歳以上・男性)

・今回始めてツアーに参加させて頂き、次回も都合がつけば参加したいと思っております。(70歳以上・男性)

■参考資料2：プレゼンテーションの概要

・プレゼンテーションの概要

- 1) 最近の人たちの傾向：価値観が多様化し何でもありの時代に、身近な人やモノに無関心な風潮がちょっとさびしい。
- 2) 江戸時代のアラカルト
 - ◇体格・寿命、好きなもの(和菓子・ゆるキャラ・ペット等)
- 3) 江戸時代の旅について
 - ◇旅の目的・服装・携行品(含ガイドブック)
 - ◇東海道について
 - ◇宿について
 - ・宿の役割(宿泊・運輸/通信)
 - ・宿泊施設(本陣、旅籠、木賃宿、下宿(したやど・藤沢宿の場合は常光寺、永勝寺))
 - ・旅籠で供された料理
 - ・問屋場(運輸機能の担当部門)
- 4) 本日の藤沢宿ツアーのレビュー
 - ・「白旗神社」から「遊行寺」までを写真で振り返る。
- 5) まとめ
 - a) 今回のツアーのシナリオは、以下の各エリアに通底する藤沢宿の「やさしさ」の発見が起爆剤となった。
 - ◇鎌倉エリア(白旗神社/伝源義経首洗井戸、弁慶塚) → 鎌倉時代の義経伝説に関わる「やさしさ」
 - ◇室町エリア(遊行寺/敵御方供養塔、長生寺/照手姫の墓) → 室町/戦国時代の戦さに関わる「やさしさ」
 - ◇江戸エリア(永勝寺/飯盛り女の墓)、金砂山観音 → 江戸時代の藤沢宿/旅籠で働いていた女性に関わる「やさしさ」以上を知ること、冒頭に述べた「最近の人たちが、身近な人やモノに無関心な風潮」について考えさせられた。
 - b) 現在の藤沢宿における活動事例
 - ・「ふじさわ宿交流館」、「藤沢宿まちなかアート巡り」、「店蔵の活用(宿/わたや、蔵前ギャラリー)」

■参考資料3：藤沢宿に対する気づき

・本プロジェクトを通して感じた「藤沢宿」に関する気づきの例を列記。

A：藤沢宿の利点

- ・駅からの距離がほどほどで、エリアもコンパクトにまとまっている。
- ・切り口によってさまざまな「藤沢宿ツアー」のテーマ設定ができる。
- ・既に、交流館の他に、旧東海道沿い歩道のトランスボックス上のグラフィックスや各種標示パネル等が整備されている。
- ・藤沢宿エリアは全体としてクリーンで明るく整備されたイメージである。

B：藤沢宿の気になる点

◇案内表示

- ・現在の大通りを歩いても、当時の藤沢宿のイメージを想起することが難しい。
- ・大通りの華やかなパネル群に対して、裏通りに入ると、史跡に関するパネルがまるでないのは不親切。

- 大通りでも、義経首洗い井戸や常光寺などの入り口表示がないのも不親切。
- 義経伝説を白旗神社エリアの複数史跡の「群」として説明するパネルが欲しい。
- 白旗神社隣接地の荘厳寺跡地に昔からの経緯の説明が欲しい（現荘厳寺に義経の位牌がある話に義経伝説が繋がっていく）
- 済美館のホールに飾ってあるパネル群に説明文がないのは惜しい。
- 藤沢宿エリアの史跡の時代的な関係が理解し難い（鎌倉～室町～江戸～明治～大正～昭和初期）
- 遊行寺の板割朝太郎の墓の説明パネルに国定忠治との関係を書くと見物客の興味が違ってくる。

◇ガイド

- 若い人がガイドをすると、企画段階から発想自身が異なってくる。
- 若い人がガイドをすると、ツアーの現場の空気が変わってくる。
- シニア向けツアーは各地に沢山あるが、若い人とコラボするツアーは少ないので新鮮味が出そう。

◇高齢者・障がい者対策

- 弁慶塚に至る階段の石段が滑りやすく危険なため、「手すり」の設置が必要である。
藤沢宿の史跡として扱う以上、早急に設置しないと事故が起きる確率が極めて高い。
- 車いす使用者に対してバリアフリー面でまだまだ問題箇所が多い（舗道の傾斜等）

◇外国人対策

- 現段階では外国人を呼び込む準備がされていない。
2020年を目標として、外国人のための藤沢宿ガイドマップがあってもよい。

◇その他

- よい意味でも悪い意味でも藤沢宿エリアにはお金を落とすところ、使うところがない。
- 家族連れ（特に子ども）が喜んで訪れるエリアというよりも、シニア向けエリアのイメージが強い。
- 若い女性（例えば歴★女子会）が喜んで訪れるかどうかというと、もうひと工夫必要な感じがする。
- よく言えばスマート、悪く言えばよそよそしい感じがするエリアである。

◇さいごに：今回の機会を与えていただいた「NPO 藤沢市市民活動推進連絡会」に感謝いたします。

以上